つばた

議会だより

No. 162
2022.7.5

5月・6月会議

議長選挙 …… 2
河北中央病院に新鋭医療機器を導入 …… 3
委員会審議　定住促進事業など …… 4
請願２件・陳情１件を審査 …… 5
一般質問　７人が登壇　河合谷「禁酒」を町指定文化財になど … 7

議長選挙

第33代議長に 森山 時夫 氏

5月20日に開催した5月会議で、議長選挙を行った。
また、議長の交代に伴い、一部の委員会の構成員を変更した。

コロナ禍においても、議会を停滞することなく、常に執行部と連携をとり、町民の安全安心、住みよいまちづくりを第一に推し進め、議会運営の的確な判断をしていきたいと思います。

【議長選挙結果】

森山　時夫議員	11票
西村　稔議員	3票
（無効投票）	1票

【立候補所信表明】

森山　時夫議員

常に町民の思いを酌み取りながら、議会と町民をつなぐパイプ役として信頼されるように努めたい。

西村　稔議員

町民目線に立ち、執行機関のチェックをしたり、議案に対する考えを述べたい。

変更があった委員会等
※は新任

◆県森林公園活性化対策特別委員会

委員長	河上　孝夫
副委員長	道下　政博
委員	八十嶋孝司
	※森山　時夫
	酒井　義光
	谷口　正一
	洲崎　正昭

◆大河ドラマ誘致推進特別委員会

委員長	※森山　時夫
副委員長	八十嶋孝司
委員	議員全員

◆県後期高齢者医療広域連合議会議員

※森山　時夫

6月会議

一般会計補正予算

6億2624万円を可決（賛成多数）
特別・事業会計7724万円補正（全員賛成）

※金額はすべて1万円未満を切り捨てで記載しています

6月会議を6日から14日までの会議期間で開催した。

初日には町長から一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の制定などを含む4件の議案が提出され、町政全般について7人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て、全議案を可決し、請願2件、陳情1件を採択した。続いて、人事案件3件が提出され、任命について2件を同意し、諮問1件を異議なしとした。さらに、意見書3件を可決した。

河北中央病院
医療機器さらに充実

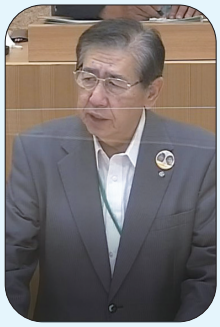
CT撮影装置　6600万円

より被ばく線量が少なく
正確な診断が可能に

超音波画像診断装置 1100万円

脂肪肝などを数値で確認

4期目就任所信表明



矢田　富郎　町長

町政運営の2本の大きな柱として、30年後、50年後を見据えた、子の世代、孫の世代のためのまちづくりと、今を心豊かに暮らすためのまちづくりを力強く推し進め、町の将来像にも掲げている「住んでみたい、ずっと住みたい　ふるさとつばた」を目指し、各種施策に取り組んでいく。

特に今期は、定住人口、交流人口の拡大を図るための各種施策を着実に進め、実現させていきたい。

豊かな自然と人とが共生するかけがえのない「ふるさとつばた」を将来の世代へ継承していくため、2050年までに町全体の二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、ここに「津幡町ゼロカーボンシティ」を宣言する。

委員会審議

予算決算、総務産業建設、文教生活福祉の常任委員会で審議されたものについて、主なものを紹介します。

マイナンバーカード普及率アップは

847万円
- 町　民　課 -

Q 普及率アップの対応は。
A 臨時申請等受付窓口をアル・プラザ津幡に設ける。

Q 人員配置は。
A 人材派遣、町の会計年度任用職員と正規職員の計3名で対応する。

ゼロカーボンシティ宣言に実効性を

980万円
- 生活環境課 -

Q 戦略策定支援業務の委託内容は。
A 目標値設定の前提となる現状分析などを委託する。

Q 委託先の決定は。
A プロポーザル方式により決定する。

除雪管理システムとは 道路除雪費

251万円
- 都市建設課 -

Q 導入のメリットは。
A 作業の進捗状況が把握でき、町民サービスが向上し、業者の安全な作業につながる。4年度は、13台に試行導入予定である。

Q 業者への説明は。
A 予算成立後、業者に向けて詳細を説明する。

津幡町に住もう!! 定住促進事業費

191万円
- 企　画　課 -

Q パンフレット作成委託料の内容は。
A 定住促進パンフレットは、A5判20ページの冊子を3000部作成し、町内の不動産業者と関係あるところに配布する。

Q パンフレットの内容は。
A 地理的要件の優位性を推し出し、あわせて補助施策を盛り込みたい。本町に生涯住む上で、大きなメリットを感じてもらえるようにしたい。

米価下落や資材高騰に対処 農業経営継続支援事業費

1906万円
- 産業振興課 -

Q 支援の内容は。
A 水稲作付面積10アール当たり、1500円を支援する。飼料米作付も対象となる。

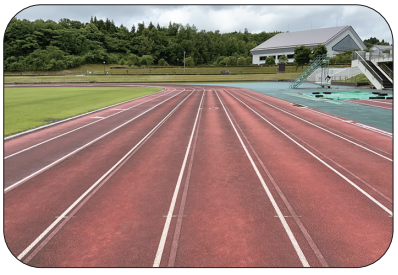
公認更新に向け 運動公園陸上競技場改修

1億6472万円
- 生涯教育課 -

Q 何を改修するのか。
A 主としてウレタントラックの張り替えである。

Q 必要性は。
A 経年によりウレタンが擦り減り、コーナーなどで競技者が転倒する恐れがあるため、以前から指摘を受けていた。

Q 何種公認を申請予定なのか。
A 今後の維持費等を考慮し、4種ライトを申請したい。



みなさまからの

請願２件・陳情１件を審査

６月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。
請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。
請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

採択　地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書の提出を求める請願

◎請願者　公明党津幡支部
副支部長　福島　保志
紹介議員　道下　政博
（全員賛成）

委員会の主な意見

本町でも情報システムの標準化に向けて準備を進めており、請願の趣旨に賛同できる。

採択　環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のＺＥＢ化のさらなる推進を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者　公明党津幡支部
副支部長　福島　保志
紹介議員　道下　政博
（全員賛成）

委員会の主な意見

ＺＥＢ化の必要性、特に学校における環境教育の重要性は理解できる。それらに実効性を担保するための財政面について、その充実を国に求めることについては意味がある。

※ＺＥＢ（ゼブ）とは、Ｎｅｔ Ｚｅｒｏ Ｅｎｅｒｇｙ Ｂｕｉｌｄｉｎｇ（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

採択　国民の祝日「海の日」を７月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

◎陳情者　海事振興連盟
会長　衛藤征士郎
（賛成多数）

委員会の主な意見

陳情の趣旨は妥当であり、陳情の意思を尊重する。

反対討論

法律の制定改廃に責任を負うのは国会である。その構成員である国会議員が地方議会に対し、意見書を内閣総理大臣宛てに提出するよう陳情を行うことは疑問だ。
竹内　竜也　議員

反対討論

学校の夏季休業前の三連休を崩すことになると、観光関係での損失は、１０００億円から２０００億円と言われ、経済損失が大きい。
森川　章　議員

□□□-□□□□

採択された2件の請願と
1件の陳情は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

６月会議　採決状況一覧

議決結果

○：賛成　×：反対　欠：欠席　　議長は採決に加わらない。「－」

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
議案	小町 実	森川 章	竹内 竜也	八十嶋孝司	西村 稔	荒井 克	森山 時夫	角井外喜雄	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一	向 正則	道下 政博	谷口 正一	洲崎 正昭	河上 孝夫	（賛成：反対）
議案第39号	○	×	○	○	×	○	－	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	可決 (11:3) 欠 1
議案第40号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決 (14:0) 欠 1
議案第41号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決 (14:0) 欠 1
議案第42号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決 (14:0) 欠 1
請願第３号・第４号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	採択 (14:0) 欠 1
陳情第３号	○	×	×	×	○	○	－	○	○	×	○	○	×	○	欠	○	採択 (9:5) 欠 1
同意第２号・第３号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	同意 (14:0) 欠 1
諮問第１号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	異議なし (14:0) 欠 1
議会議案第４号・第５号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決 (14:0) 欠 1
議会議案第６号	○	×	×	×	○	○	－	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	可決 (10:4) 欠 1

議案４件　請願２件　陳情１件　同意２件　諮問１件　議会議案３件

議案 39　令和４年度一般会計補正予算
運動公園陸上競技場の施設改修工事他
（6 億 2624 万円の増）　4 ページに紹介

議案 40　令和４年度町国民健康保険特別会計補正予算
コロナ傷病手当金の追加（24 万円の増）

議案 41　令和４年度町病院事業会計補正予算
医療機器ＣＴ・超音波画像診断装置購入
（7700 万円の増）　3 ページに紹介

議案 42　町住吉公園屋内温水プール条例について
目的、名称等の条例を制定する

請願３　地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書の提出を求める　5 ページに紹介

請願４　環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のＺＥＢ化のさらなる推進を求める意見書の提出を求める　5 ページに紹介

陳情３　国民の祝日「海の日」を７月 20 日に固定化する意見書の提出を求める　5 ページに紹介

同意２　町公平委員会委員の選任につき同意を求める
松島直広氏 (新任) の任命に同意

同意３　町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める
石庫要氏 (新任) の任命に同意

諮問１　人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求める
田中郁子氏 (再任) の推薦を異議なし答申

議会議案４　地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書

議会議案５　環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のＺＥＢ化のさらなる推進を求める意見書

議会議案６　国民の祝日「海の日」の７月 20 日への固定化を求める意見書

【一般会計補正予算討論】

反対討論

体験型観光交流公園の基本設計の予算が組まれている。この公園の来訪者数、工期と工事費用、事業主体など問題が山積している。工事関係者だけが潤うような事業には反対である。

塩谷　道子 議員

反対討論

除雪車にＧＰＳを搭載の新聞記事を見て、オペレーターから退職したいとの申し出があると聞く。オペレーターがいなくなると除雪できなくなるため、中止を求める。

西村　稔 議員

反対討論

山間地の除雪車13台に対してＧＰＳを設置することで、町の除雪業者の一部が継続することに難を示している。除雪計画が昨年同様に担保できるのか、不安を感じる。

森川　章 議員

賛成討論

コロナ禍で苦しむ家庭や事業者への支援、小中学校のバリアフリー関係など住民生活の安全安心を守るための予算が含まれ、緊急性が認められるため執行を遅らせるべきではない。

竹内　竜也 議員

町政を問う　一般質問

河合谷「禁酒」を町指定文化財に

森川　章　議員

質問　旧河合谷村の人々が禁酒を経て、学校建設の費用を捻出したレガシーは報道などで伝えられている。

町内外の方々にさらに広く伝えていくためにも、町指定文化財への指定を検討せよ。

答弁　禁酒の碑やその他関係資料は町の貴重な歴史的、文化的資源であると認識しており、今後も情報発信しながら、資料の充実と活用を図る。

文化財指定については、町文化財保護審議会において意見を聴取した上で教育委員会が指定するものである。

質問　国が、新型コロナウイルス感染者のワクチン接種、未接種を示すデータを4月11日のデータから修正し報告した。

ワクチンは、感染予防効果と重症化の軽減効果があると言われている。

修正後は感染予防効果が低いことを示すデータになっていると思う。町はどう考えるか。

答弁　国が公表しているワクチン接種歴別の新規陽性者数について、集計方法が変更されたと認識している。

町が実施しているワクチン接種については、国から示されている方針や指示に基づき行っており、国から提供された情報を的確に発信している。

質問　小学校通学路を修繕せよ。

答弁　今年度の通学路安全点検時に詳細に確認する。

小規模特認校制度の導入は

八十嶋　孝司　議員

質問　中山間地にある3小学校の児童数が減少傾向にある。

児童数の増加策として小規模校の特色ある教育を通学区域に限定せず自由に入学、転学できる小規模特認校制度があるが導入の考えは。

答弁　小規模校の存続については今後の人口動態と一体的に考えて、定住促進事業の充実と情報発信を行い、活性化させ魅力ある地域づくりにつなげていく。

小規模校3校のいずれかについて小規模特認校制度導入の計画はない。

質問　4月から、成年年齢が18歳に引き下げられた。

国はこれに係る環境整備として児童生徒に早い段階からの消費者教育を進めているが、教育現場の取り組みは。

答弁　小学校では売買契約の基礎について、中学校ではクレジットの三者間契約などについて学んでいる。

中学校3年生では、日常生活の中に存在するさまざまな契約に関することやインターネット上での詐欺、ゲームでの課金トラブルなどについても指導している。

新知事に期待することは

竹内　竜也　議員

質問　28年ぶりに知事が交代した。政治家出身の新知事への期待は。

答弁　これからも馳カラーを出していただき、これまで以上に市町と県の距離を近くしていただきたいと思う。

質問　町立学校での業務の平準化について、どのように捉えているのか。

答弁　校長研修会やミドルリーダー研修会等で具体例を挙げて改善を求めてきた。業務の平準化を引き続き進めるとともに、国に対しても関係機関と連携し、教職員定数のさらなる改善を強く求めたい。

質問　学校給食費の公会計化に向けた見通しは。

答弁　本町の給食は、センター方式ではなく、単独調理方式であるため、それぞれの学校の状況整理や対応に少し時間がかかっている。具体的な項目について方針が定まり次第、実現目標を示す。

質問　公園遊具の撤去後、再整備を実施するか否かの判断基準は。

答弁　地域公園の規模やニーズ等さまざまであることから、必要性や財源を検証し判断したい。

質問　都市公園などへのインクルーシブ遊具の整備は。

答弁　今後の遊具の更新や新設においては、できる限りインクルーシブ対応とした遊具の設置を検討したい。

▲公園を訪れる誰もが一緒になって遊べる遊具
（インクルーシブプレイグラウンドのみ：能美市）

水道給水の強制閉栓は何件あるか

西村　稔　議員

質問　水道法違反で強制閉栓した件数は何件あるか。また、県内すべての市町でも強制閉栓を行っているのか。

答弁　現在、給水を停止している件数は7件で、いずれも本人と連絡が取れない状況となっているが、連絡があれば、納入計画等の相談により開栓する。

また、町民の生活権を脅かすことのないよう最大限配慮する。

県内すべての市町の供給規定において、水道法に基づき給水を停止することができるとの規定が設けられている。

質問　集中豪雨時の冠水対策を潟端地区より要望しているにもかかわらず一向に着手する気配がない。いつ着手するのか。

答弁　潟端地区の側溝の改善や集中豪雨時の冠水は、要望箇所を確認している。側溝の改善は、排水改修の効果を見極め、有利な財源を研究し進めていく。

以前からの要望で潟端2号線の浸水対策は東部承水路の水位が大きく影響しており、国営造成施設の排水ポンプの機能アップが最適と判断し、改修要望を行ってきた結果、国営総合農地防災事業が着手された。

質問　危険空き家対策は

答弁　危険な状態になる前に適正管理を求め、危険空き家の増加防止に努める。

町政を問う　一般質問

ペットと同行避難できる場所を

道下　政博　議員

質問　神奈川県海老名市では、令和元年10月の台風19号の被害に見舞われた際に、避難しなかった人の多くがペットのいることを理由に挙げていた。

同じ轍を踏まないように、家族同然のペットと一緒に災害時に避難できる場所の確保を。

答弁　現在、本町の避難所でペットの同行避難があった場合は、国のガイドラインにのっとり、他の避難者に迷惑の掛からないようマナーを守りながら、災害の状況によって、屋外や踊り場、廊下などに飼育スペースを設けることとしている。

質問　ヤングケアラーの早期発見と対応のために、スクールソーシャルワーカーの増員の検討を。

答弁　現状のスクールソーシャルワーカーを活用し体制づくりに努める。

※ヤングケアラーとは、厚労省、文科省の見解では、法律上の定義はないが一般的に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされている。

質問　夏季の川尻水門付近の浮きごみの対策を。

答弁　原則、水門の管理者である川尻用水土地改良区と河川管理者である石川県とで、適正に対応するものと認識しており、今後、さらに県との情報共有が図られるよう連携していく。

学校給食食材費の値上がり分をどうする

塩谷　道子　議員

質問　最近、給食の食材費が値上がりしている。給食費を値上げした学校もあれば、自治体が差額を補助したところもある。また、値上げはせずに別の食材に置き換えているところもある。

町は、この値上がり分をどうするのか。

答弁　学校給食の質を維持し、安全安心でおいしい給食を安定して児童生徒に提供するため、保護者の負担を増やすことなく値上がり分に対しては町が助成を行う方針である。

質問　自治体の建築物に再生可能エネルギーを使うことは、意義がある。

河愛の里キンシューレと建設中の住吉公園屋内温水プールに太陽光発電を取り付けできないか。

答弁　2施設では、設計の段階で太陽光発電の導入を検討したが、総合的に勘案した結果、見送った経緯があり、現段階での設置は困難である。

新たに国からの支援制度を効果的に活用して、導入が可能な公共施設への太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー導入を積極的に推進したい。

質問　各地区の人口の増減から何を考えるのか。

答弁　地理的格差が生じないよう、インフラ整備などを行っている。

河北潟に巣作りしたコウノトリの保護を

小町　実　議員

質問　コウノトリは、2月に人工巣塔で巣作りを始め、4月下旬に産卵したとみられる。

生息地保全のため、大規模湿地の整備などを進め、子どもたちの環境教育にも役立てるべきだ。

さらに、町で観察カメラの設置や観察場所の整備を提案する。

答弁　幸せを運ぶコウノトリにあやかり、来年以降、津幡町生まれのひなが誕生した際には、巣立ちを記念した特別住民票の交付も想定している。

観察カメラの設置や、観察場所の整備については県など関係機関との十分な協議を進める。

質問　4月、5月には頻繁にクマの目撃情報がメール等で配信されて、危険な状況が続いている。

クマが生存できる自然環境を再生し、クマを森に帰すための山の整備にもっと取り組むべきではないか。

また、新たな捕獲の担い手確保のため、資格取得の支援を提案する。

答弁　獣害対策の一つである緩衝帯整備事業とあわせて、今後も県や森林事業者と連携し、森林整備の拡充を図っていく。

猟友会会員の高齢化の問題と免許取得の推進については、効果を挙げている自治体の事例等の調査、研究を行いたい。

表彰

4月27日に石川県町村議会議長会総会が開催され、各表彰を受けた。

○県町村議会議長会表彰（在職11年以上）
八十嶋　孝　司　議員
西　村　　稔　議員

○全国町村議会議長会表彰（在職15年以上）

○県知事表彰（在職5期以上）
向　正　則　議員
多賀吉一　議員

○全国町村議会議長会表彰（特に顕著なる功労のあった者）
角井外喜雄　議員

報告

◎4月29日　県民みどりの祭典

県森林公園緑化の広場で、緑化推進のためゴーヤと花苗を配布。

◎5月13日　河北潟周辺議会連絡会　総会・講演会

「河北潟周辺農地防災事業について」

講師
北陸農政局
河北潟周辺農地防災事業所
所長　家元　隆佳　氏

フルカラー化への道

議会に視線を向けていただくために、議会だよりはいかにあるべきか悩みは尽きません。

住民と議会をつなぐ大切な役割を担うわけですから、手に取って読まれることが大前提です。

検討を重ねてきた結果として、一瞥したときの訴求力や明快さ、好尚を捉え、今号からフルカラー印刷に移行しています。

今後も検討を重ね、中身の充実を図るべく一同汗をかきます。

（広報調査特別委員会委員長　竹内　竜也）

議会インターネット中継

本会議の映像をインターネット（YouTube）でご覧いただけます。

スマホでも視聴できます

5月会議

一般会計補正予算

2億1847万円を可決（全員賛成）

5月20日に5月会議を開催し、一般会計補正予算と財産取得の議案2件、承認8件が提出された。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。その後、議長選挙を行った。（選挙の詳細は2ページに記載）

福祉教育複合施設の整備に向けて

○福祉教育複合施設整備事業費（改修工事費等）
1億9900万円

旧つばた幼稚園園舎の改修を進めており、令和5年度の供用開始を予定している。

社会福祉協議会や親子支援センター、教育支援センター等の機能を集約した複合施設を予定し、安全安心で子育てに優しい町を推進するための拠点とする。

○財産の取得

津幡町営バス車両1台
2887万円

5月会議　採決状況一覧

○：賛成　×：反対　投：投票　欠：欠席　　議長は採決に加わらない。「－」

議決結果

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
議案	小町 実	森川 章	竹内 竜也	八十嶋孝司	西村 稔	荒井 克	森山 時夫	角井外喜雄	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一	向 正則	道下 政博	谷口 正一	洲崎 正昭	河上 孝夫	（賛成：反対）
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決（14:0）欠1
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決（14:0）欠1
承認第2号～第9号	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認（14:0）欠1
選挙第1号	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	欠	投	森山時夫氏が当選
選任第1号	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	選任（14:0）欠1
選挙第2号	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	選挙（14:0）欠1

議案2件　承認8件　選挙2件　選任1件

議案37　令和4年度一般会計補正予算
福祉教育複合施設整備費他（2億1847万円の増）

議案38　財産の取得について
町営バス車両一台を購入（2887万円）

承認2　専決処分　令和3年度一般会計補正予算
事業確定による係数整理（1億9544万円の増）

承認3　専決処分　令和3年度町国民健康保険特別会計補正予算
事業確定による係数整理（216万円の減）

承認4　専決処分　令和3年度町後期高齢者医療特別会計補正予算
事業確定による係数整理（94万円の増）

承認5　専決処分　令和3年度町介護保険特別会計補正予算
事業確定による係数整理（3677万円の減）

承認6　専決処分　令和3年度町バス事業特別会計補正予算
事業確定による係数整理（270万円の減）

承認7　専決処分　令和3年度河合谷財産区特別会計補正予算
事業確定による係数整理（11万円の減）

承認8　専決処分　町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
基礎課税額を65万円に変更するなど

承認9　専決処分　町税条例の一部を改正する条例
経過措置終了のため対象外となる法人を定めるものなど

選挙1　議長選挙
議長選挙を行い、森山氏、西村氏が所信表明を行う

選任1　町議会県森林公園活性化対策特別委員会委員の選任
森山氏を選任

選挙2　石川県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
指名推選で、森山氏が当選

令和４年７月５日発行
発行／津幡町議会　発行責任者／議長　森山　時夫
編集／広報調査特別委員会

〒929-0393 石川県河北郡津幡町字加賀爪ニ３番地
http://www.town.tsubata.lg.jp/
eメール gikaijimukyoku@town.tsubata.lg.jp
TEL 076(288)6410
FAX 076(288)6418

サークル紹介 第51回 津幡町少年相撲教室

津幡町少年相撲教室は毎週火曜日と土曜日に、津幡町総合体育館の屋内相撲場で元気に稽古を行っています。教室の活動は、津幡町相撲連盟や教室生の保護者の協力、また稽古には津幡南中学校相撲部の部員にも胸を借りながら活動しています。

過去には団体や個人での全国大会入賞を始め、県内外での多くの大会で入賞の実績があります。また、教室の卒業生では、現在大相撲で活躍する力士や、アマチュア相撲の全日本チャンピオンも輩出しています。

◆活動場所と時間
町総合体育館
毎週火曜日
18時30分～20時30分
毎週土曜日
9時～11時

◆連絡先
☎090-8269-4658
（長井）

《ミニインタビュー》

Q これからどんな町になってほしいですか？

A 子どもから高齢者まで、全ての年代が不自由なく笑顔で過ごせる町。

Q 津幡町の好きなスポットはどこですか？

A 森林公園や河北潟などの広大な自然が満喫できるところ。

監督　長井（ながい）　恒輝（こうき）

今後も国技相撲を通じて、津幡町の青少年の健全育成に微力ながら力を注いでいきたいと思います。

ザ・ロード・オブ議会改革

議会は、議会と語ろう会の充実、タブレット端末を活用したオンライン会議の実施、また、議会基本条例の制定を課題としている。

議会と語ろう会は、コロナ禍の感染状況を鑑み、再開に向けた検討を重ねている。

タブレット端末の導入から一年が経過した。次の段階として、リモート会議の経験を積み重ねて、災害等緊急時においても、各議員が自宅や庁舎外から会議へ参加できるようになることが目標である。

最重要課題である議会基本条例の制定については、原案の策定を進めており、令和5年度中の施行を目指している。

これまで先進地視察などを行ってきたが、現在はコロナ禍で実施できていない。しかし、視察の受け入れも含め、今後の議会改革の活性化につながるよう、学び吸収していきたい。

（議会改革検討特別委員会）

議会傍聴のお知らせ

9月会議は、9月5日（月）10時からの予定です。

■受付日時
9月5日（月）午前9時～

■受付場所
役場庁舎4階　傍聴受付

◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをご覧になるか、左記までお問い合わせください。

（問合先）
議会事務局
TEL 288-6410

表紙の風景

しいのきこども園の子どもたちが、園庭で元気に外遊びをしました。

表紙の題字は

刈安小学校6年
尾坂（おさか）　七虹（なこ）さんの作品です。

伝統ある刈安小学校のことを多くの人に知ってもらうために、パンフレットを作りました。シグナスや町役場に置いてあるので、ぜひ読んでください。総合の学習で、学校の中庭に置きたい遊具を考えています。地域の人が笑顔で集まれる場所を実現させたいです。

議会だよりの感想をお寄せください！
議会メールアドレス